流域治水プロジェクト拡充に向け議論しました

R3.10.14

～淀川流域治水協議会第4回淀川（大阪府域）分会の開催～

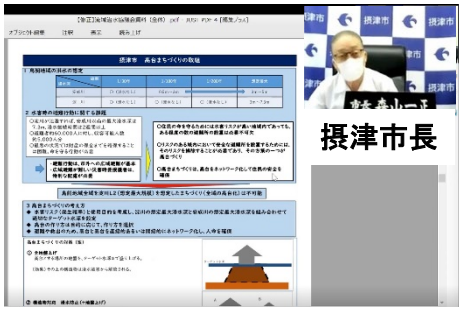
－淀川河川事務所－

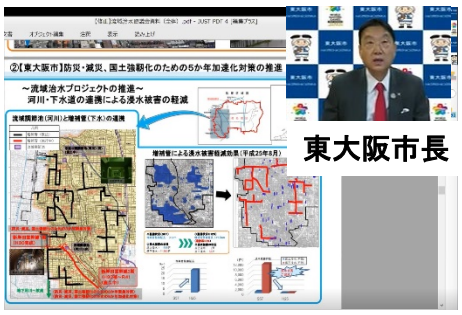
今般、淀川水系河川整備計画（変更）を令和3年8月6日付けで策定し、さらなる河川整備が位置付けられたため、「淀川水系流域治水プロジェクト(大阪府域)」における整備内容の拡充に向けた議論を実施しました。

概要

○ 日時：令和3年10月14日（木）11:00～12:00
○ 会場：WEB会議（新型コロナウイルスの感染拡大防止のため）
● 構成員：流域市町村長※〔うち赤字表記は流域治水の取組事例を紹介〕

※吹田市，高槻市，守口市，枚方市，茨木市，八尾市，寝屋川市，大東市，柏原市，門真市，摂津市，藤井寺市，東大阪市，　四條畷市，交野市，島本町
大阪市工務担当部長，大阪府河川整備課長，
大阪管区気象台気象防災部次長
環境省近畿地方環境事務所環境対策課長
近畿中国森林管理局京都大阪森林管理事務所長
近畿農政局農村振興部設計課長
近畿地方整備局淀川河川事務所長，淀川ダム統合管理事務所長
浪速国道事務所長，大阪国道事務所長
水資源機構関西・吉野川支社淀川本部長





構成員からの意見

高槻市長：河川整備計画の変更において，支川改修や水防拠点の整備を位置づけ，地域の課題や要望に配慮をいただいた。流域全体の安全度の向上を図ることが必要という基本理念のもと，あらゆる関係者が協働して取り組む流域治水を推進していくことが明記された。流域の各自治体においても，引き続き流域治水に取り組むため，国においても変更された河川整備計画に基づく事業を積極的かつ確実に推進していただきたい。

流域治水の取組事例紹介

高槻市：高槻城・安満遺跡の両公園に雨水貯留施設を整備したことにより，本年8月の豪雨（時間最大53mm）で，これまで浸水が発生していた地域での被害を解消した。
摂津市：水害リスクが比較的高い地域の避難所および避難経路を確保する「高台まちづくり」を対応可能な公共施設から実施していく。
島本町：市内全部の要配慮者利用施設における避難確保計画を策定し，今後は各施設での訓練を実施していく。また，特に利用者の多い地域に「まるごとまちごとハザードマップ」を増設した。
四条畷市：ため池の常時水位を下げ雨水の流出を抑制することで，川への放流量が施設改良前の約半分となり，ため池を活用した治水効果を確認した。
東大阪市：花園ラクビー場周辺に遊水地，調整池を整備し，平成30年7月豪雨時で治水効果を発揮した。また，豪雨時の排水能力を高める増補管整備を行い大きな治水効果を発揮している。
大阪府河川室：今年5月，観測史上1位を記録した大雨でも寝屋川流域において地下河川等の整備により、同規模の雨が降った平成7年と比較して、大幅な浸水戸数の減少による治水効果を確認した。引き続き、防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策制度を活用した流域治水事業の更なる推進を図っていく。

【問い合わせ先】
国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所　沿川整備課
〒573－1191 大阪府枚方市新町2丁目2－10　TEL　072－843－2861